

中国佛山研修事後アンケート 集計結果

1. 海外旅行は

- ①まったく初めて…4人 ②家族と旅行経験あり…3人 ③ホームステイ経験あり…1人

2. 佛山第3中学校について

(A)学校生活で一番印象に残っていることは何ですか？それはなぜですか？

- ・学校や教室に着いた時、学生が熱烈に歓迎してくれたこと。写真を撮ってほしいとか Wechat を交換してほしいと言われたり、お菓子をくれたり、沢山コミュニケーションをとってくれた、去年佛山第3中の学生が長田に来た時は日本人がシャイだからか遠巻きにしていた気がするから。
- ・授業。数学の授業では誰もが積極的で日本のように先生がひたすら授業するのではないことに驚いた。授業進度が早く、授業時間が短かった。英語も当てられてすぐに歌ったり、日本人なら恥ずかしがってできないことも積極的だった。
- ・生徒が授業に積極的に参加していたこと。どの授業もすごく盛り上がっている上に、わからなかったら教え合ったりしているため、先生はマイクを使用していることが多かった。
- ・休み時間にバディ達としたゲームがとても楽しかった。
- ・機材が充実していたこと。敷地や施設が大きかったこと。生徒数（1クラス50人×22クラス×3学年）いずれも長田高校にはなく、全く想像していなかったから。
- ・3Dプリンターやロボットの紹介など、長田には100%ないもので、日本の遅れを感じた。
- ・モーニングエクササイズで走る距離が800mで楽しかった。周回走の話をするに興味を持ってくれたから。

(B)佛山第3中学校についての印象・感想

- ・財力がすごい。生徒が積極的。技術室やIT関連が充実。バスケットコートやプールがとても広い。
- ・留学生に対してとてもフレンドリーな学生が多く、過ごしていてとても気持ち良かった。ホストの生徒達の英語のレベルがとても高く驚いたけど、英語の授業に入ってみると全員がそうであるわけではなさそうで安心した。そういうところは長田と似ているなど思った。
- ・とにかく設備が整っている。また生徒が日本に比べてかなり自由に行動していた。例えば授業中にかなりしゃべる、水を飲むなど。
- ・行く前までは長田高校生もかなり真面目だと思っていたが、佛山第3中の生徒はそれ以上に真面目で、20時を過ぎても教室で自習をしていることに驚いた。
- ・日本と違ってすごく学校や教育、設備にお金がかかっているなど思った。どの教室もプロジェクターがあり、あまり黒板は使っていなかった。生徒はすれ違っただけで挨拶してくれたり、日本語で話しかけたりしてくれて、すごく印象が良かった。 ・施設の充実（日本の遅れ）。人の多さ。

3. ホームステイの感想

- ・本当に気持ちよく6日間を過ごせた。部屋はホストの子と2人で一緒のベッドに寝たけれど、とても気を使ってくれた。ホストの子以外の家族はほとんど英語を喋れなかったけれど親切にしてくれて、寮生活では体験できない家庭の温かさを感じることができて良かった。
- ・食器の片付け等を手伝おうとしたら「いいよ、いいよ」と言われたことが多く、おもてなしを実感した。日本にいるとなかなか難しいけど、英語という共通語を使って互いの考えや教育制度、文化やマナーを知ることができたことがすごく貴重な経験になった。日に日に仲良くなっていくことが実感できて本当に嬉しかった。
- ・とても優しくフレンドリーに接してくださいました。弟がとても可愛くて心が温まりました。沢山の場所

で、食べきれないレベルのものを食べさせてもらって、ものすごく感謝でいっぱいです。沢山のおもてなしがあって涙が出そうでした。また個人で中国に行きたいです。

- とにかく楽しめた。外食に連れて行ってもらったり、「もし何かあったら伝えてくれたら改善する」と言ってくれたり、大変配慮をして頂いた。近代的な建物だったので驚くことが多かったが、生活に関して日本との違いはあまりなかった。
- とても充実した環境だった。ホストファミリーは私を本当の家族のようにかわいがって下さり、心配して下さった。前回のオーストラリアホームステイでは英語の能力の不安から家族との会話が怖かったが、今回は身振り手振りで意思疎通を図ることができ、ホストファミリーをより好きになることができた。
- ホストファミリーは少し日本語や英語が喋れて、マザーは翻訳アプリを使って、家族全員が積極的に話しかけてくれて、とてもやりやすかった。また、日本のカレーを作ってくれたら、とても喜ばれた。
- 人の家だから、やはり少し気を使う。しかし経験して良いものであった。
- 多くの面でとても良くしてもらった。異文化理解の面で、とても良い経験ができた。

4. 自分の中で変化を感じたことはありますか？ 現在の思いを自由に書いてください。

- 文化の違いを本やテレビ、マスメディアを介して知るのではなく、実際に体験することによって、価値観に変化を感じた。日本では中国と聞いて、はっ？へっ？と思う人が多いが、彼らがどうしてこういう行動をとるのかというのが、マナーや生活の違いから分かり、受け取ることができるようになった。向こうから日本にやって来る時は、今度はこちらからおもてなししたい。
- 外国人ともコミュニケーションができたことで、自分の英語力に少しだけ自信を持てるようになった。
- 中国に行って本当に良かったと思う。日本にいた時に持っていた中国のイメージとは違って、私たちに対して積極的に話しかけてくれてとても嬉しかった。週末に私を案内してくれた女の子たちはすごく日本のことを知っていて、沢山質問をしてくれた。私は中国に関する予備知識が無かったので申し訳なかった。この研修を機にもっと中国の事を勉強したいと思う。
- 普段は行くことのできない中国に行けて、ホームステイもして現地の授業も体験して、文化を知り観光もできて、すごく充実した6日間でした。私自身、中国に対してそんなに良いイメージを持っていなかったんですが、良い人が多いしご飯も美味しいし、来なければよかったと思うことは1回もありませんでした。むしろ、中国の文化を現地の人に直接教えてもらえる、二度とできないような貴重な良い経験をさせてもらえてすごく嬉しかったです。私は将来グローバルな環境で働くことが夢なので、色々な人の話を互いの第2言語である英語で意思疎通することが刺激になりました。私にとって、第2言語で外国の人と自分の考えを話し合うって、すごくワクワクすることだと気づきました。みんな頑張っているし、自分も頑張ろうと思える機会が沢山ありました。中国の生徒はすごいなあと思うことが多かったです。
- 積極的に話しかけに行けたと思う。文化の違いを身近に体験したことがなかったので、視野が広がった。また、佛山3中の生徒の方々の勉強への姿勢や将来への考え方が自分のものとは違い、自分の中で新しい考え方のストックが1つ増えた。
- 行く前も行った後も「中国と日本の文化は似ているところがある」という感覚は変わっていません（礼儀を重んずる、漢字を用いるなど）。しかし、その「礼儀」といっても何を「礼儀」ととるのか、また考え方の違いなど、日本にいただけでは絶対に知れないことを知ることができました。最も感銘を受けたのは、国全体の「勢い」です。
- 単語を知らないが始まらない。研修中に何度もわからない単語があり、説明してもらったり、翻訳アプリを使ったので、英語の勉強をもう一度見直したい。